

## 目 次

大會を迎ふる辭	一	工場管理	三
役員氏名	三	所屬支部一覽表	三
一般會務報告	三	4. 争議部報告	六
1. 昭和五年大會決議の執行	三	勞働争議一覽表	七
2. 同 理事會報告	五	5. 調査部報告	三
3. 組織部報告	九	6. 事業部報告	三
創立支部	九	7. 教育部報告	三
休止支部	一〇	8. 青年部報告	四
團體協約運動	二	9. 政治部報告	五
團體協約締結支部情勢	二	10. 會計報告	六
解消したる協約	三		

## 昭和六年度大會を迎へて

一九三〇年秋より一九三一年に於ける世界各國の無産階級運動は、最も受難の時であり、苦悶の時代である。乃ちブルジョア階級は未曾有の世界的不況に遭遇し、極度に無産階級の生活を脅かし以つて自己の存続に汲々とし、各國勞働組合は之に對抗するに必死である。我が國內に於ても同様、濱口内閣の無謀なる緊縮政策に因つて財界は極度に萎縮し金融は硬化し、中小工場は矢次ばやに破綻し未曾有の大不況時代を出現し、餓首、閉鎖、失業等々相次いで勞働階級に迫つた。この大暴風雨にも等しき資本の強撃に對抗して、勞働組合は最後の一线に踏みとまらざるに必死の闘争を続けなければならぬ。従つて罷業は深刻化し、單なる經濟闘争でなく、其の勝負は死活の鍵を握るものにして全く命の防衛戦である。其の戦術も尋常一様の手段に依つては到底不可能となり、或ひは煙突男となり、或ひは已人的暴力化となりて、幾分定道を失するも亦資本の狂暴に對抗するに止むを得ない所である。然し乍ら我等は之を左翼中間一派の如く賞賛するものではない。斯る現象は勞資の關係が餘りに不合理なる状態に置れて居る所より生ずる最も危険なるものである。之を見るも勞働組合法の制定は刻下の急務である。勞働組合に法律的に經濟的地位が確保され團結権が脅かされる事なく健全なる發展がなされるならば斯る状態は自然に減少されるのである。然るに濱口内閣は第五十九議會に法案提出にあたり資本家階級の強要にあつて遂に死法化してしまつた。然し乍ら我等は一段と奮起し實力を養成し團體協約を獲得して事實の上に着々と歩を進めて來た。

失業問題は益々重大性を加へつゝある。本組合のみにても一ヶ年間に解雇になりたるものは六百九十八名の多き上り川口町に於ける半失業者を合するならば一千數百名に達するのである。我が組合は昨年度大會に於て、失業者即時救済案として公益に關する新起事業の起工と失業手當金の支給を決議し、政府に要求したのである。殊に川口町に於ける失業者救済は急務中の急務にして一日も猶餘する事を許さぬので、再三再四安達内務大臣に請願したる結果、埼玉縣知事、社會局長官等の川口町視察となつたが其後何等具體的救済の事實の現れない事は實に遺憾に堪へない。